

支援計画アップデート【4日間】

学び合い実践講座

サービス管理責任者



こんなお悩みありませんか？

- ✓ 今の支援計画このままでいいか不安…
- ✓ もっとご利用者のニーズを引き出したい！
- ✓ 新たに個別支援計画に盛り込まなくてはならない項目を学びたい！
- ✓ 支援計画が現場に浸透していない!?
- ✓ 他の事業所はどうしているの？



令和9年
10/6 火・11/17 火・12/15 火・1/19 火

+人権研修（オンデマンド研修）※後日詳細案内【全日】14:00-17:00

サービス管理責任者同士が実践を持ち寄り、学び合う参加型研修です。支援計画の立て方・モニタリングの精度を事例検討で深めながら、自身の実践を再構築します。少人数制の対話を重視し“一人で抱えない支援”を実現するための4日間です。

24名の
限定開催

他事業所の
実践を知る

アセスメント
の再設計

支援計画が根づく
チームづくり
人材育成

※本研修はサービス管理責任者の更新研修には該当しません。

講師 小口 将典 氏（東海大学 健康学部 健康マネジメント学科 教授）

対象 大阪府内の障がい児・者施設に勤務する3年以上の経験をもつサービス管理責任者で、指導的立場にある職員で4日間+人権研修を受講できる方。

会場 大阪社会福祉指導センター4階 研修室（大阪府中央区中寺1-1-54）

定員 24名 ※先着順

受講料 12,000円/1人

締切 9月11日（金）17:00

申込は
こちらから

大阪府社協 研修

プログラム内容

第1回 10/6	「事例を通してアセスメントを検証する」(講義・演習) ソーシャルワーク論から学ぶ支援の基本原則、インテークの重要性 利用者のニーズと要望の違い、アセスメント面接を考える。
第2回 11/17	「利用者の権利擁護(意思決定支援・身体拘束・虐待防止)への組織内での 対応と支援の設計およびアセスメントシートの見直し」(講義・演習)
第3回 12/15	「個別支援計画の作成」(講義・演習) 事例によるストレングスモデルの検討、アセスメントにおける分析の獲得、各事業所で 使用している個別支援計画を持参し、それぞれの様式ポイントを共有。
第4回 1/19	「利用者主体の支援計画とモニタリングの視点」のポイント(講義・演習) 受講者の事例を通しての課題・ニーズ分析と個別支援計画作成(演習) これからのサビ管・児発管の役割について(演習)
人権研修	オンデマンド研修・配信期間中に研修動画を視聴し、レポート提出。 ※詳細は、後日研修期間中にご案内いたします。

※4日間のうち3日間以上遅刻早退なしに出席し、人権研修を受講された方には本センター所長名で修了証書を発行します。

過去の受講者の声

周りの人の話を聞くことで、
自分の気づきが
たくさんできました。



他事業所のアセスメント
シート様式を見れて
とても参考になった。
アドバイスももらえて
よかった。



楽しく、
わかりやすかったので、
時間があつという間
でした。



模造紙と付箋を使ったワークは
視覚化できて自身の実践で
盲点になっているところが
わかってよかった。



現場に近い意見を交換でき、
違う角度での意見交換もできた！
横のつながりで、同じ悩みを
共有できました。



先生がフレンドリーに
巡回してくださり、
近い距離で質問など
お話ができてよかった。



日頃の現場でのやり方や視点など
「本当にこれでいいのかな？」と
思う答え合わせができました。



支援計画を立てる、振り返るにあたり、
誰に聞いてもよく分からないこと
が多かったので、順序だてて学ぶ
ことができてよかったです。



●研修にお申込みされるにあたってのお願い●

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。

研修に申込される皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

【安心できる受講環境のために】

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風等自然災害などにより、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。中止または延期の場合は、速やかにご連絡いたします。

問い合わせ 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ TEL:06-6762-9035